

# 四條畷南中学校跡地について

資料2



## 【概略データ】

住 所	四條畷市南野五丁目5番1号
建築年度	1972年
築年数	48年(2020年現在)
面 積	建物延床面積 8,021m <sup>2</sup> (うち屋内運動場 1,155m <sup>2</sup> )
	敷地面積 20,323m <sup>2</sup>

※ 個別施設計画93ページより



第二京阪道路(国道1号)

**シビックエリア**

官庁や公共施設などが  
集まる地域のこと

凡例					
	地域界		南部既成市街地		地域生活拠点
	主な道路		シビックエリア		歴史エリアスポット
	鉄道 (UR)		山麓既存集落地の環境保全・整備		市民生活交流軸
	幼稚園		沿道型の商業・サービス機能の立地誘導		水とみどりのネットワーク (河川系)
	小学校		街区公園		水とみどりのネットワーク (道路系)
	中学校				広域幹線道路
	高等学校				幹線道路 (破線は未整備)
	大学・専門学校等				補助幹線道路 (破線は未整備)

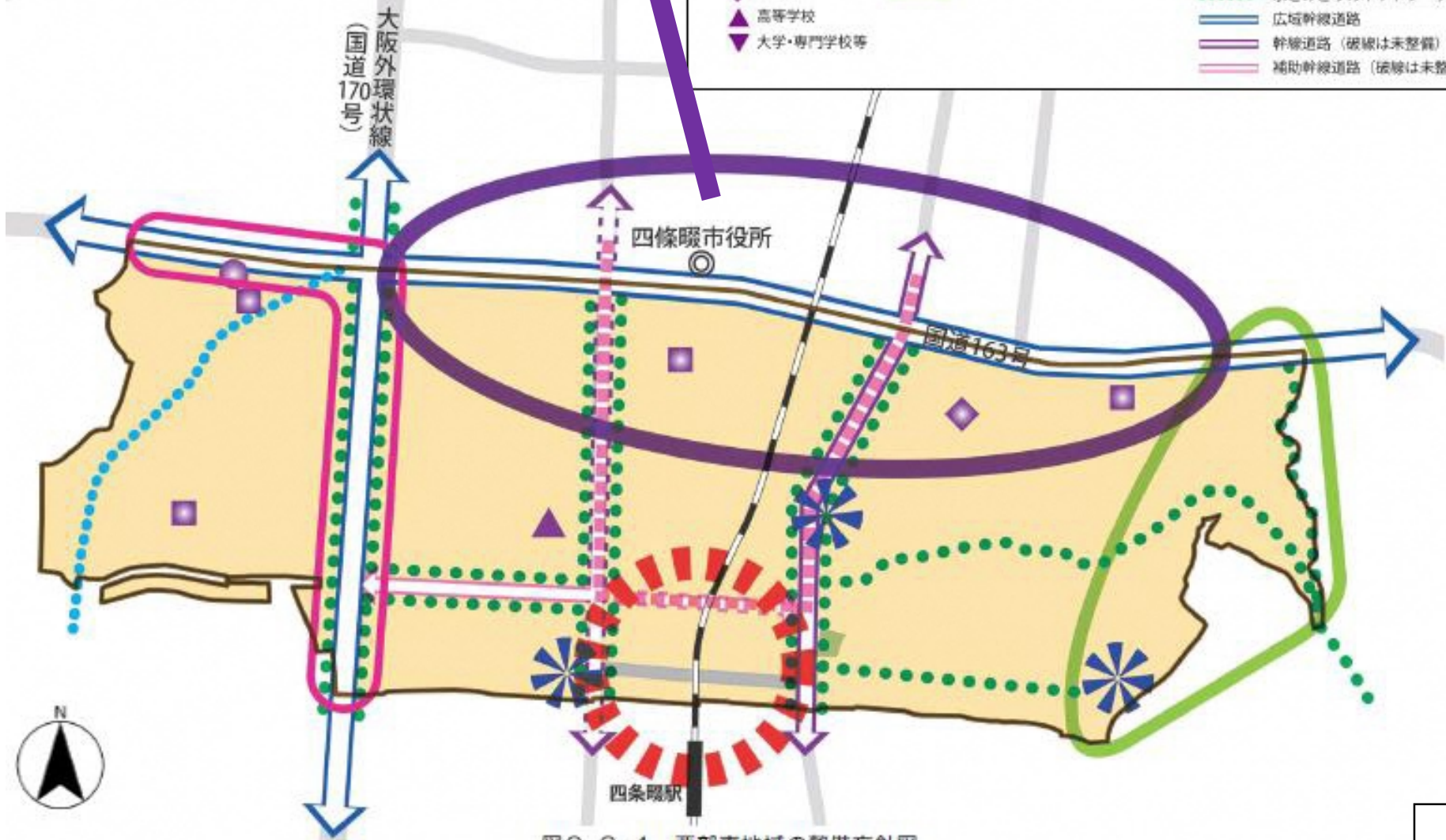
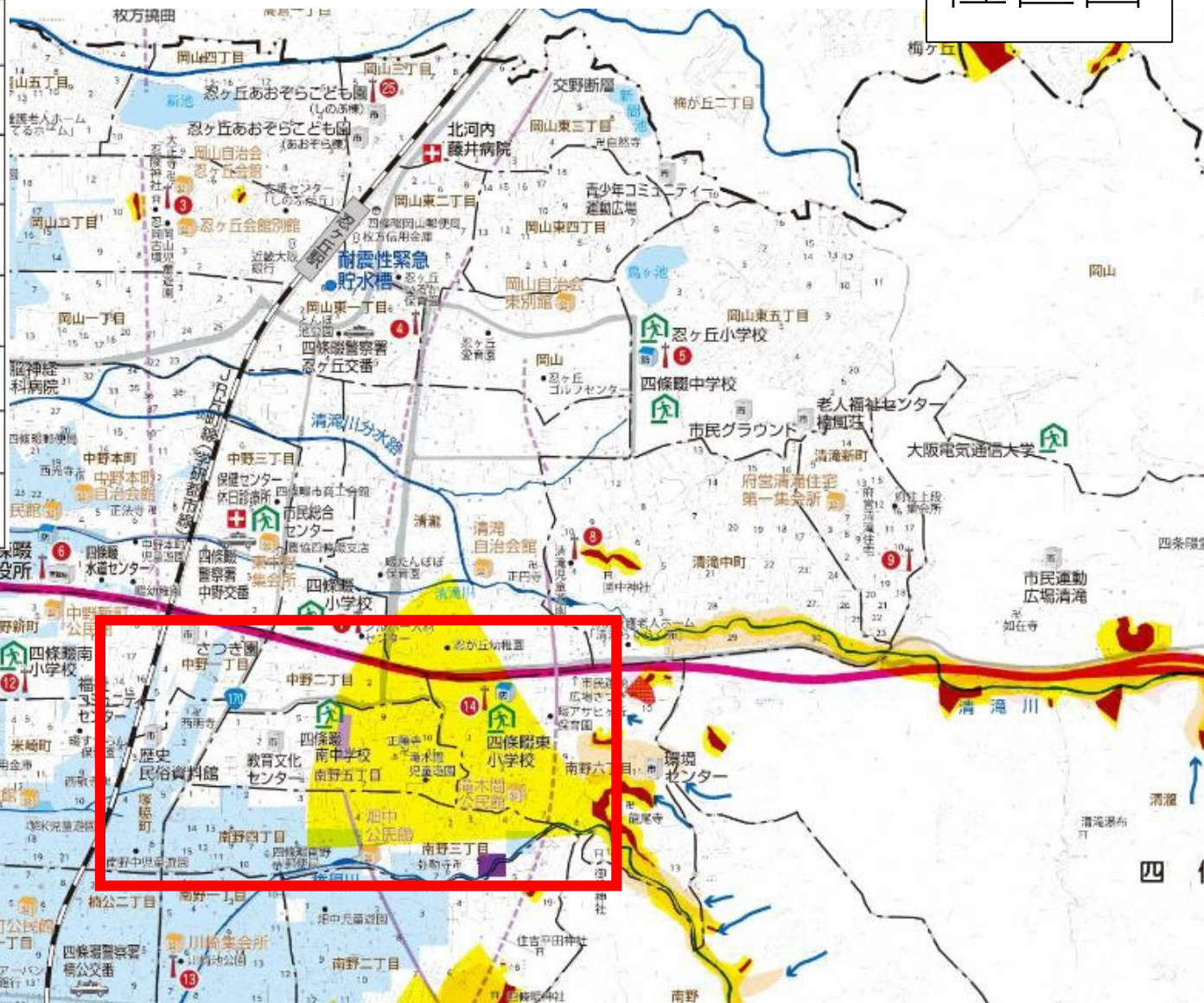


図3-3-4 西部南地域の整備方針図



# 位置図

凡例 Legend		凡例	범례
土砂災害	土石流危険渓流 Streams with danger of debris avalanches 泥石流危険渓流	←	
	土石流氾濫区域 Streams with danger of debris avalanches, flooding area 土石流氾濫区域	■	
	急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ) Locations with steep slopes in danger of collapse (landslides) 急傾斜地崩壊危険地段(悬崖塌落)	■	
	急傾斜地崩壊危険区域 Areas with steep slopes in danger of collapse 急傾斜地崩壊危険区域	■	
	土砂災害警戒区域 Earth and sand disaster caution area 砂土災害警戒区域	■	
	土砂災害特別警戒区域 Earth and sand disaster special caution area 砂土災害特別警戒区域	■	
地震	活断層 Active faults	—	
	活断層(位置やや不明確) Active faults (position somewhat inaccurate) 活动断层(位置略微不明确)	- - -	

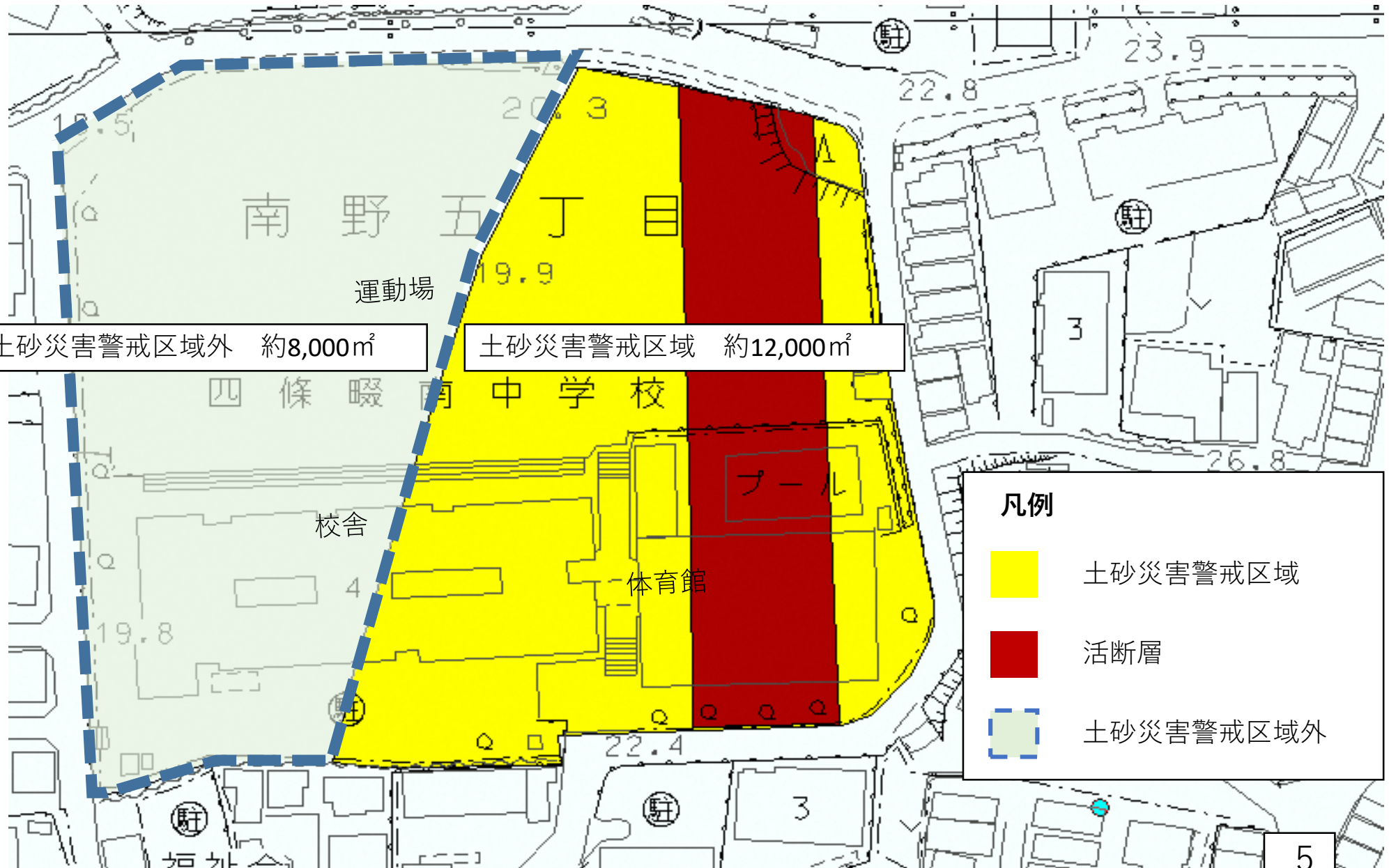




# 位置図（拡大図）



# 活断層の位置と土砂災害警戒区域の範囲





# 活断層調査について

- 調査目的

四條畷南中学校の敷地内で存在が推定されている活断層について、その有無や分布状況を調査すること。

- 調査期間 H30.4.2～7.31



# 生駒断層帯の特性について

表-3.3.1 生駒断層帯の特性

項目	特性
生駒断層帯を構成する断層	田口断層、交野断層、枚方断層、生駒断層、誉田断層
断層帯の北端位置	北緯 34° 52′ 東経 135° 41′ (大阪市枚方市)
長さ	およそ 38km
一般走向	N10° E
傾斜	低角(30-40°)で東に傾斜
幅	不明
断層のずれの向き	東側隆起の逆断層
最新の活動	西暦 400~1000 年頃(西暦 734 年?)
1回のずれの量	2-3m(上下成分)
平均活動間隔	3000~6000 年
今後の発生確率	30 年以内 およそ 0~0.1% 50 年以内 およそ 0~0.2% 100 年以内 およそ 0~0.6% 300 年以内 およそ 0~3%

(地震調査研究推進本部 生駒断層の評価より抜粋)



# 調査結果

○ ボーリング調査及びトレンチ調査とボーリング調査により採取した土壌試料による各種分析の結果、

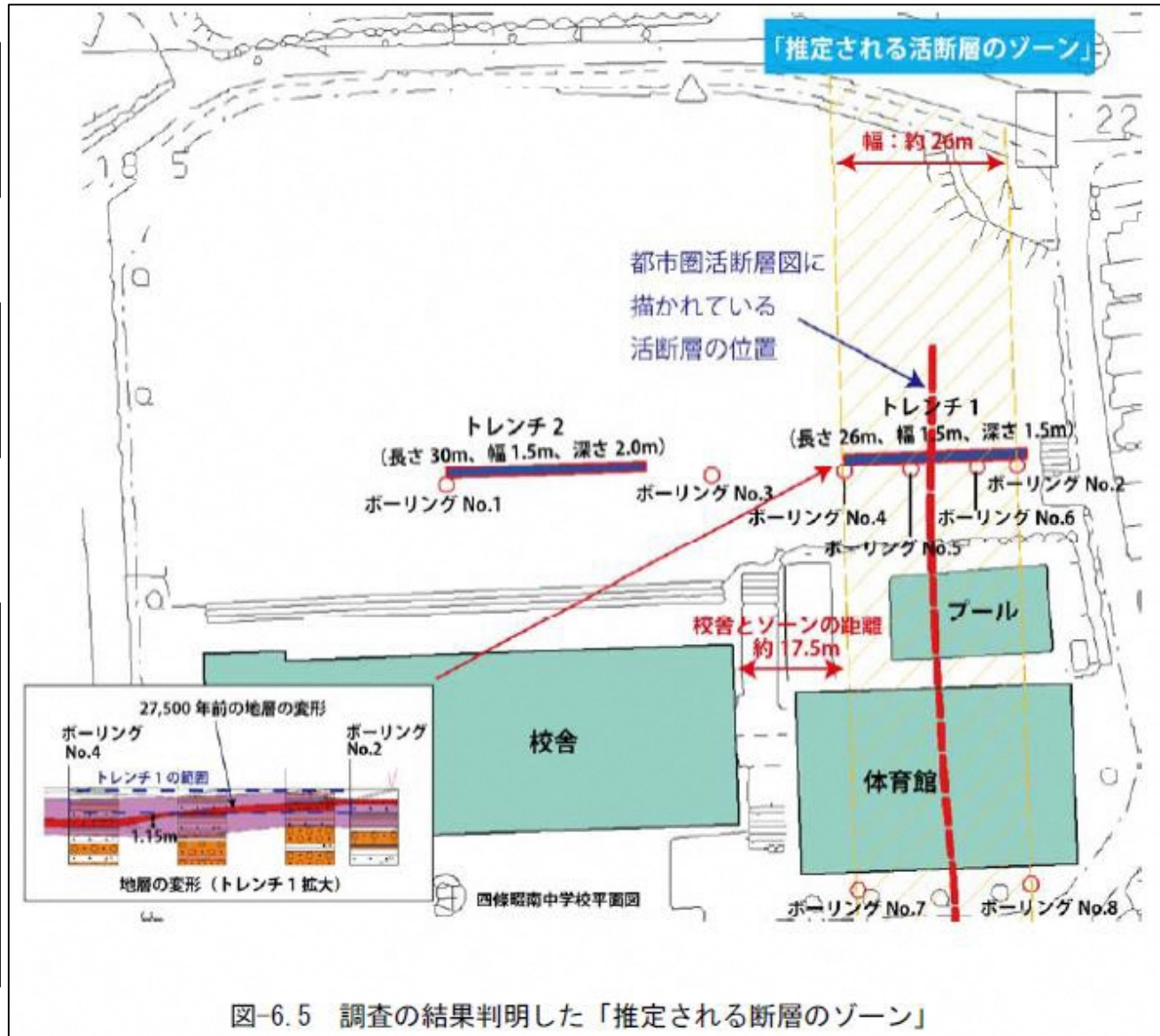


「推定される活断層のゾーン」として、幅約26mで活断層とみられる地層の変形が確認できた。



活断層が通っている位置

- ① 生駒断層は学校敷地の東端付近を南北に通っている可能性が高い。
- ② 断層は幅（ゾーン）を持って分布している可能性が高い。
- ③ 今回明らかになった断層の位置は既存の都市圏活断層図に書かれている場所とほぼ一致している。





# 学識者の見解について

---

大阪市立大学大学院理学研究科・理学部 三田村教授

● 断層をまたいだ位置および断層近傍の施設は、断層のズレによって壊れる可能性があるため、なるべく利用しないことが望ましい。

● 新規施設の建設時には、できる限り断層から離れた位置に建設することが望ましい。

● 敷地西側は断層の下盤側にあたり、地層が厚く堆積しており、全般的に地震波の増幅により強い揺れが生じやすくなるため、表層には軟弱な地層が分布するため、耐震性は十分に確保すべきである。

# 土砂災害警戒区域について

## 土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）・土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）とは

がけ崩れや土石流などの土砂災害から都民の生命を守るため、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成13年4月1日施行）に基づき、土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）および土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）の指定をされた区域のこと。

## 区域に指定されると

### 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

- 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に指定されると、土砂災害防止法に基づき
- ・ 宅地建物取引業者は、当該宅地または建物の売買等にあたり、警戒区域内である旨について重要事項説明を行うこと
  - ・ 要配慮者利用施設の管理者等は、避難確保計画を作成し、その計画に基づいて避難訓練を実施すること  
等が義務づけられる

### 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されると、土砂災害防止法に基づき
- ・ 特定の開発行為に対する許可制
  - ・ 建築物の構造規制  
等が行われる。



# 現状の四條畷南中学校跡地について

四條畷南中学校の現状を映像にしましたので、ご覧ください

11



四條畷南中学校跡地

築年数：48年

敷地面積：20,323㎡